

Weekly Bulletin 2014-2015



RI会長
デイリー C.K. ホン
(黄其光)



静岡東ロータリークラブ

会長/伊藤洋一郎 幹事/相原雄治

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザビル5F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
伊藤洋一郎



第 2702 回例会

平成 27 年 2 月 5 日 天候 雨

《司 会》 相原雄治君

《合 唱》 「奉仕の理想」

《BGM》 「麗しのピアノ名曲」

《ゲスト》 異文化コミュニケーター/国連パ'ット親善大使
マリ・クリスティーナ 様

《ビジター》 なし

《本日のお祝い》

お誕生日

2月12日 山下勝央 君
2月15日 宮川 滸 君
2月22日 佐橋 徹 君

結婚記念日

2月10日 佐野哲一 君

《会長挨拶要旨》

変わりゆくということ



1. 法社会学という学問があります。現代社会における人々の生活の変化に従い従来は、法が積極的に関与していなかった領域に対し、法の役割が拡大してゆくことを法化現象と呼んで、そ

の法のありようを考察する学問です。

人々は、法に何を期待し、要求し、それに法はどう応えようとしているのか、その際、法の側にも何らかの変化が生じているのかを考察する学問です。

現代社会における人々の生活や意識の変化に応じて、法もまたそのありようを変化させてゆくべきものであることを研究する学問です。法は、固定的であってはならないという理念が背景にあります。

2. たとえば、最近の現代の家族生活の変化の場面では、

①婚外子差別と法、②児童虐待への対応と法、③離婚に伴う家族の変動と法、などが、その研究の対象とされています。

①婚外子については、前にも申し上げましたが、最近、最高裁の違憲の決定が出されました。従来、法律では、民法 900 条によって、婚外子は、嫡出子の 2 分の 1 の相続分とされて、差別されていました。それが、憲法 14 条 1 項に違反するのではないかと問題提起されました。そして、最高裁・平成 25 年 9 月 4 日の決定で違憲とされ、婚外子の相続分は、2 分の 1 ではなくなりました。この問題については、平成 5 年ころから裁判で問題となり、20 年をかけてやっと違憲判決となったわけです。そして、最高裁は、違憲の結論を導くに際して、「社会の変化」があったと強調しています。

社会の変化によって、社会規範が揺らぐ。その揺らぎを肯定するか、否定するかが問われるのでしょうか。

3. ロータリークラブにおいても、社会の変化の中でその存在意義は問われるのでしょうか。たとえば、ロータリークラブの会員が、日本国内において減少を続けているという現象に対し、単に従来どおりのロータリークラブの在り方をのみ前提として会員増強を叫ぶことは正しいのかを、私たち会員の一人一人が問わなければならないと感じています。

① 現代社会は、今どのように変容しているのか。

② その社会の変容があるとすれば、その変容に対し、ロータリークラブは、その変容をどう受け止めるのか、あるいは、受け止めて変容すべきときにきているのではないかと、改めて問われなければならないのではないかと感じています。

ロータリークラブは、現代社会においてどのような存在であるべきかが改めて問われなければならないのでしょうか。

まずは、変わらなければならないものに心を委ねながら、しかし、変わりゆくものに身を置いてみるということでしょうか。

《2014 年～2015 年度 中間決算報告》

会計 足羽 祐治 君

別紙 報告書参照ください

《来賓卓話》

「世界の子どもたち」

マリ・クリスティーヌ様



私の専門分野は異文化コミュニケーションで市計画や街づくりが主なものです。静岡県でも「地域とともにある学校作り委員会」など色々とお仕事をさせて頂いています。テレビの仕事で海外へ出

掛ける仕事も多く、本業の異文化コミュニケーションという仕事で声を掛けて頂くことが多くなってきました。

今日は「世界の子どもたち」について話をさせて頂きます。

NGO 法人「アジアの女性と子どもネットワーク」では、タイの山岳民族の教育支援を 1998 年から実施しています。タイミャンマー、カンボジアの山岳地帯は色々な民族が生活していますが、国境線を引かれたとき、特にタイに住む人は、タイ語が出来ないと仕事ができず、国民医療も受けることができないため、私たちが教育を提供できれば、彼らも自分たちで勉強して自分たちで国を変えるようなことができるようになるのでは、との試みから始めた活動です。これまで 4000 人近い子どもたちが、お手伝いをさせて頂いた学校で学び卒業しています。今はラオスへも色々な形でお手伝いをさせて頂いています。

また、日本おもちゃ財団という財団があり、障害をもたれている子どもたちの「おもちゃ図書館」を運営していましたが、40 年経つと時代も変わり、衰退していく中で、何とかしたいと、海外の子どもたちにおもちゃを提供しています。

世界には 71 億人が住んでおり、子どもは 22 億人、学校に行けない子どもが 7500 万人、発展途上国で食べるものが無く栄養不足の子どもたちは 2 億人、5 歳まで生きられない子どもは毎年 1100 万人いるのが現状です。

タイの山岳地帯では、女性が朝から晩まで毎日脱穀をするなど、大変な仕事をしています。

支援をしているカレン族では、学校の教室が足りず、私たちが学校建設をやってきました。また、お米を持ってこれず給食を食べられない子どもたちのために、給食プロジェクトもお手伝いしています。

ストリートチルドレンになってしまった子どもたちは、ベガー制度というマフィアが作った組織があり、どんどんはまっていきます。捕まって収容されても、また彼らに捕まって悪循環になっていきます。そのため、村で子どもたちを売らず、手放さないような仕組みを学校と一緒に作るということもさせて頂いています。

モン族は手先が器用なため、洋服工場などで働いているうちにだんだん奴隷のようになり、人身売買で抜け出せないような状況もあるため、そうならないように情報も流すようにしています。

ハビタットの活動では、アフリカのレイクビクトリア近くの村で、HIV で親を失った兄弟たちのために、ウォーターハーベストタンクを作りました。水を貯め、村の人たちが水を買に来ることで、彼らもバラバラにならず、村の人たちにも潤いを与えています。

ケニアのキベラというスラムでは、人が住まないような谷に小屋を作って住んでいます。雨がゴミや汚物を流していくような劣悪な環境で生活しています。

世界では多くの子どもたちが大変な思いをして、生活をしています。日本の子どもたちは引き籠もったり「なんなんだ、このアンバランスは！」と思うこともあります。豊になればなる中での問題もあり、貧困であればまた別の問題がありこの基準で皆が幸せになれるのかと思っています。

発展途上国の子どもたちと関わる時、自分の心がきれいではないとよく思います。かわいそうと思ってしまった途端に下に見ています。彼らは、かわいそうと思って欲しくないもっと頑張れるように手伝ってくれればいいんだ、という意識があります。日本人はいろいろと未来的なことを想像しながら生きていますが、彼らは、その日、食べて、よく眠れて次の日仕事があつて、それでお腹一杯食べられて、そして家族と一緒に集まって、平和であるということが幸せ、というものを見ると、まだまだ勉強しないといけないと、自分を直す機会になっています。

子どものころ、イランに住んでいたこともあり、戒教徒のことはなんとなくわかります。「目には目を」ということがあります。色々知恵をつけてくれる人たちがいたときの「目には目を」と今の「やられたらそれ以上の力でやり返す」は違ってきています。私たちももっともっと世界のことを知りながら日本は世界とどのように関わっていくかということが課題です。ロータリアンは奉仕の気持ちを持って、お金だけでなく、心と気持ちで動ける人が奉仕しているところが素晴らしいと思っています。今後とも宜しくお願いします。

《スマイル報告》

- 佐橋 徹 君 お誕生日のお祝いを有難うございました。身体の方は大丈夫の様ですので、もう少し頑張ってみます。どうぞよろしく願い申し上げます。
- 浅野 裕史君 先週下田に出張に行き、美味しい金目鯛を食べて来ましたのでスマイルします
- 大角 晋朗君 特にありませんが、丹羽さんに声をかけていただいたのでスマイルします。
- 小山 宏之君 インターシティーミーティングの第二部の司会を務めます。失敗しないように一生懸命やらせていただきます。失敗したら笑って許してください。
- 伊藤洋一郎君 モナリザのほほえみに出会ったのでスマイルします。
- 河野 雅一君 松坂屋さんの立体駐車場工場の安全祈願を丹羽さんとお祈りしてきました。工場の安全を祈念してスマイルします。
- 丹羽 亨 君 37 年続いた松坂屋の駐車場を今月工事のため閉鎖いたしました。1 年半後に新たにオープンいたしますが、工事期間中ご迷惑をおかけいたします。よろしくお願い致します。
- 杉本 幸子君 マリ・クリスティーヌ様の貴重なお話しをお聞きすることができ感激でした。感謝してスマイル致します。

《出席報告》

	会員数	出席	欠席	MU	完全欠席	確定出席率
2/5	54(52)	42	10	-	-	-
1/29	54(53)	44	9	-	-	-
1/22	54(53)	42	11	7	4	92.45%

2月7日(土)開催のIM(インターシティー)の報告書は別途作成、後日配布予定(IMは例会扱い)